



長岡米百俵フェス

長岡の一大イベントへ 「東山」の新たな幕開け

家族連れで大にぎわい
1万1,000人が熱く

10月6日・7日の2日間、東山ファミリーランドを会場に「長岡米百俵フェス」花火と食と音楽と「2018」を開催しました。今月の表紙
渡辺美里やBEGIN、長岡出身の琴音など、豪華アーティスト24組が出演。長岡花火の打ち上げや選りすぐりの長岡の食、キッズパークなどもあり、幅広い世代が楽しめる新しいフェスとなりました。

2日間で県内外から約1万1,000人が来場。アーティストのライブが始まると、リズムに乗って跳ねたり手拍子をしたりと、大いに盛り上がりました。子どもたちは動物との触れ合いや凧揚げ、工作など、キッズパークで大はしゃぎ。飲食ブースでは、長岡ならではの食を求め、行列が出来ていました。フィナーレに阪之上小学校児童が歌う、いきものがかり・山下穂尊さん作詞作曲のテーマソング「輝き」に合わせて超大型スタライマインが秋の夜空を彩る

と、会場から大きな歓声が上がりました。
来場者からは「子どもも遊べて一日楽しめた」「開放的な自然の中で音楽も花火も満喫できた」との声が聞かれました。

オール長岡でももてなし
活性化と交流人口増へ

イベントを主催したのは、県内外の企業が出資して設立した米百俵フェス有限責任事業組合。東山エリア一带の活性化と交流人口の拡大を目指して、市や商工会議所、NPO法人などをつくる長岡実行委員会が協力しました。地元約100人もボランティアに参加し、長岡全体で運営やおもてなしを行いました。今回の盛り上がりを受け、今後、秋の大型イベントとしての定着を目指していきます。
図政策企画課 ☎ 39・2361

来年の開催は
10/12(土)・13(日)！
お楽しみに！

